

下染め



下染めは濃く、発色よく染めるための助剤です。するのとしらないのでは大きく発色が異なり、どんな素材にも色が定着しやすくなります。絞り染めや板締め絞りのときに白場と染め場が滲みにくくなり、はっきりくっきりとした柄に染めることができます。

その一 染めるものの重さを量ります。



◎必ず乾いた状態で量ってください。

その二 生地全体によく水を染み込ませてください。

◎生地に油分が残っていて水を弾く生地は一度湯洗い又は洗濯してから行ってください。

その三

生地が浸かるくらいの水を用意して下染め剤を入れてよくかき混ぜてください。



◎水の量の目安：生地の重さに対し10倍程度
◎下染め剤の目安：生地の重さに対し3%

その四 生地を入れて2〜3分全体に染みこませてください。



その五

手絞りして綺麗な水で2回すすぎ洗いしてください。

◎ムラなく染めるための大事な作業です。



その六

脱水又はしっかりと手絞りしてください。これで下染めは終わり。ベンガラ染めを楽しみましょう。


ちょっとした
アドバイス！

下染め後は濡れたまますぐに染められます。一度乾燥させてからでも効き目はなりません、すぐに染めない場合は乾燥させておきましょう。

染まるもの
綿・リネン・麻・紙・レーヨン
ウール・シルクなど
成分
アンモニウム塩・水

染めるときの注意点
少しとろみのある液体ですのでよく混ぜ合わせて水となじませてください。
危険性のないものですが個人差により手荒れの原因になることがありますのでビニール手袋などを着用の上、作業してください。
目に入った場合はよくすすぎ洗いしてください。

液の保存について
開封後2年間保存可能。
保存は室温の低い冷暗所にて保管下さい。
冷凍・0℃以下で保管は避けて下さい。
誤飲を避けるため、お子さんやペットの手の届かないところで保管ください。

製造・販売元
 古色の美®
ナカジマ株式会社

大阪府羽曳野市古市3丁目6-21
TEL 072-957-7755
FAX 072-958-1860
<http://www.kosyokunobi.com>